



おにぎり通信

2011年8月13日(土曜) 四ツ谷おにぎり仲間

こんにちは！私たちは毎週土曜日に、四ツ谷周辺と銀座・日比谷公園、東京駅周辺で生活されている方々を訪問しているボランティアグループです。

明日、8月14日はマキシミアノ・コルベ神父の記念日です。コルベ神父は第二次世界大戦中、ポーランドに侵攻したドイツ秘密警察に逮捕され、1941年8月14日、アウシュヴィッツ強制収容所で亡くなりました。収容所で無作為に選ばれた10人が餓死刑に処されることになり、妻子ある軍人の身代わりをコルベ神父が申し出たからと言います。他人の身代わりとなって生命を犠牲にすることは誰にでもできることではありませんが、コルベ神父の行動は、神父が愛のために生命を捧げられたように、どんな環境であっても人間が人間らしさを貫くことが可能であることを示していると思います。コルベ神父は戦後、「アウシュヴィッツの聖者」とよばれ、人々から慕われています。

☆8月1日 福祉行動報告

どなたもお見えになりませんでした。

次回の福祉行動:8月15日(月)

朝8時30分までに東京駅丸の内北口に集合です。

東京駅丸の内北口と書いてある看板の下、丸の内警察署東京駅交番近く『びゅうプラザ前』の付近にいてください。

病気やケガの治療を希望される方や、体を休めたい方と一緒に福祉事務所まで、ボランティアが同行いたします。福祉行動は原則として毎週月曜日に行います。

福祉行動は参加されるそれぞれの方が、ご自身の希望をご自身の言葉でハッキリと福祉事務所に伝えることにより成り立ちます。

最寄の福祉事務所

中央区福祉事務所...中央区築地 1-1-1 中央区役所4階

千代田区福祉事務所...千代田区九段南 1-2-1 3階

＜被災地では…＞

東日本大震災で津波の被害が大きかった太平洋沿岸部に行ってきました。短期間の滞在でできることは少ないのですが、被災者のお話を聞いていて驚いたことがありました。

震災で工場や事務所が失われ、事業がストップしている会社では、従業員を全員解雇しているところが多いようです。会社を解雇された人は、ハローワーク（公共職業安定所）で失業給付の手続きをします。

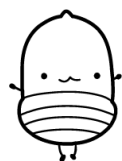
ハローワークで失業認定を受けると、それまで会社から受け取っていた賃金の50～80%（60～64歳は45～80%）を3カ月～1年間、失業給付として受給できることとなります。

もっとも、失業給付を受給するためには、4週間に1回、指定された日時にハローワークに出向いて失業認定を受けなくてはなりません。これが被災者にとって負担が大きいというのです。

震災の特例措置で事情を斟酌して認定日は変更できることになっていますが、実務上、日時の変更を認める理由が限定されていて、被災者が日時を変更しようとしても簡単ではないようです。

国内外から多数の義援金や寄付金が寄せられており、被災者とともにありたいと考える人が少なくないことを実感する場面が多い半面、ハローワークのように杓子定規な対応にがっかりさせられることも少なくないといえます。

被災者からみて杓子定規ととられるようでは、せつかくの特例措置も絵にかいた餅です。官公庁には、被災者の生活再建をもっと応援するような柔軟な対応をお願いしたいと思いました。



おにぎりを包んでいるラップや読み終わった通信は放置せずに、ゴミ箱に入れるなどして片付けにご協力をお願いいたします。おにぎりはかならずその日のうちにお早めにお召し上がり下さい。

よつや なかま れんらくさき いわた
四ツ谷おにぎり仲間 連絡先:090-4959-0652(岩田)